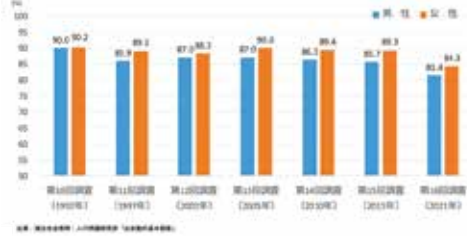
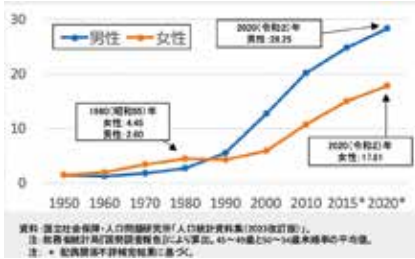


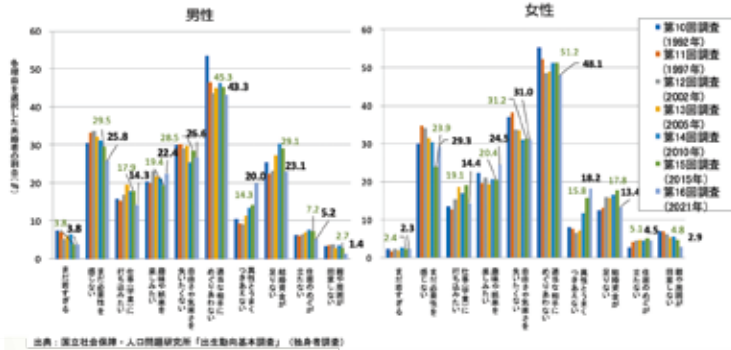
【図2】未婚者のうち「いずれ結婚するつもり」と答えた者の割合



【図1】生涯未婚率（50歳時の未婚割合）の推移



【図3】若者が結婚しない理由



現在の若い世代（25〜34歳）と同様に、「適当な相手に巡り合わない」という回答が最も多かった（図3）。

年々増え続けるシングル世帯。国立社会保障・人口問題研究所の統計調査によると、生涯未婚率（50歳時点の未婚の割合）は、1980年に男性2.60%、女性4.45%だったが、直近の2020年には男性28.25%、女性17.81%に上昇（図1）。現在の日本は、男性約4人に1人、女性約6人に1人が生涯結婚しない社会になっている。今後この傾向は続き、30年には男性約3人に1人、女性約4人に1人が生涯未婚者になると予測されている。

ただ、図2のグラフから分かるように、20年時点の50歳の未婚者も、その約20年前のアラサーの頃は、9割近くが「いずれは結婚するつもり」と結婚する意思があった。その一方で、彼女らが当時独身でいる理由を尋ねてみると、

**2030年には、男性約3人に1人、女性約4人に1人が生涯未婚に!?**

## 生涯未婚者の割合

男性 **約4** 人に1人、女性 **約6** 人に1人

### 【参照】

・結婚に関する現状と課題について（こども家庭庁 2024/7/19）  
[https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic\\_page/field\\_ref\\_resources/f27802a2-0546-424d-ac61-ac0641d67d38/cf9b37be/20240719\\_councils\\_lifedesign-wg\\_f27802a2\\_02.pdf](https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/f27802a2-0546-424d-ac61-ac0641d67d38/cf9b37be/20240719_councils_lifedesign-wg_f27802a2_02.pdf)

・自由？それとも寂しそう？データから見えてきた「生涯独身」のリアル（アキサダイレクト〈人生100年の歩き方〉2024/2/22）  
<https://www.axa.co.jp/100-year-life/health/20190522/>

【図4】相手を探するために起こした行動



さらに、適当な相手と巡り合えないのであれば、探すために行動を起こしたかを尋ねてみると、「特に何も行動していない」が圧倒的に多くなっている（図4）。このように身近で異性との出会いがないのにもかかわらず、何らかの婚活アクションを起こさず、増加している傾向は変わらないだろう。

**自由・金銭面でメリットの多い未婚ライフだが将来リスクは想定しておく必要がある**

もちろん「結婚する・しない」を決めるのは個人の自由で、周りの人がとやかく言うことではない。しかし、生涯未婚という生き方を選ぶならば、将来起きる可能性があるリスクについて想定しておく必要がある。身近なところでは「高齢の親の介護問題」が挙げられる。高齢の親世代を支える際に、手伝ってくれるパートナーがいなくても、一人っ子の場合だったら、たった一人で両親の面倒を見なくてはならない。さらに、両親を見送った後、今度は自分が病気や認知症になる可能性もあるだろう。

ただ、こうした先の不安ばかりを気にしても仕方がない。そこで想定されるリスク自体は考慮した上で、自由に過ごせる未婚者ならではのメリットを生かして、新しい趣味を見つけたり、仲間と一緒に何かチャレンジしたりするのがお勧めだ。これらを通じて人脈を広げられたら、困ったときは助け合えるなど、未婚ライフがより豊かで、強固なものになるはずだ。